令和３年度全国高等学校定時制通信制体育大会

卓球大会における

新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針

令和３年７月１日

公益財団法人 全国高等学校体育連盟定通部卓球専門部

【１】はじめに

（公財）全国高体連定通部卓球専門部では、全国高等学校定時制通信制体育大会卓球大会が、選手・監督及び大会に参加するすべての方々の安全と安心を確保し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底した大会にしたいと考えております。

つきましては、（公財）日本卓球協会と（公財）全国高等学校体育連盟の新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関するガイドラインを基準として、『全国高等学校定時制通信制体育大会卓球大会における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針』を作成しました。

なお、ここに述べる感染対策は、現段階で得られている知見に基づくものであり、今後の科学的根拠の蓄積や、流行状況の変化に応じて随時変更されてゆくべきものですので、適宜改訂を予定しております。ご利用の際には最新版であることをご確認下さい。

また、この基本方針に従うことで、必ず感染を防御出来るというものではなく、その時の環境、感染状況等を考慮して、現場にいる方々の適切な判断で、臨機応変な対応が必要となりますので、御協力をお願いいたします。

【２】大会開催留意事項について

１）競技開催について

①競技大会は選手・役員をはじめ大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項とする。

②競技大会実施の可否、実施時における競技運営における重要事案の決定については、開催都道府県知事の感染防止対策方針に準拠しつつ、（公財）全国高等学校体育連盟定通部卓球専門部理事会で審議し、決定する。

③参加校の競技登録生徒と監督・コーチ、補助役員生徒は、健康状況チェックシート（様式１）に大会２週間前から大会参加終了日まで毎日記入し、引率責任者に提出する。引率責任者は、記載内容と、参加者の様子を確認した上で、健康チェック提出用紙（様式２）を、毎日会場受付に提出すること。万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、健康状況チェックシート（様式１）の個人の原本については、各校引率責任者が１ヶ月以上保存すること。

④大会役員、主催、共催、後援団体は、健康状況チェックシート（様式１）に大会２週間前から大会終了まで健康状態を記入し、初日に様式１を、２日目以後は、様式２を毎日会場受付で提示し、入館審査を受ける。

⑤大会事務局は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会参加者から提出された健康チェック提出用紙（様式２）および、大会役員、主催、共催、後援団体から提出された（様式１）について、１ヶ月以上保存しておくこと。

⑥大会期間中は、体育館の入口で検温を常時行う。その際、37.5℃以上あった場合には、大会関係者立ち会いの下で再検査を行い、37.5℃以上が改善されない場合は、体育館から退出していただきます。その場合、チームは棄権扱いとなります。

⑦参加者に陽性者が確認された場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。

⑧参加者は、大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局に対して速やかに報告すること。大会事務局は、報告があった場合には、関係機関の求めに応じて対応すること。

⑨今後の状況の変化により、大会の中止、大会日程等の変更等、急な変更が生じることもあり得る。その際は、大会ホームページに掲載する。

【３】競技運営について

１）入場制限

今大会は無観客試合で実施する。詳細については、別途お知らせいたしますので、その内容をご確認のうえ、改めてご対応下さい。

２）監督会議・学校対抗抽選会

会場の密を回避することに努め、短時間で会議が終了出来るように、連絡事項は、予めホームページに掲載する。

３）開会式

開会宣言のみとし、実施しない。

４）各表彰

簡素化して実施する。詳細については、別途お知らせいたします。

５）閉会式

簡素化して実施する。詳細については、別途お知らせいたします。

【４】主催者が配慮する感染防止策について

１）全てのエリア

①手指消毒剤の設置をする。

②換気設備を適切に運転し、十分な換気を行う。

２）アリーナ

①卓球台は十分な間隔を開けて設置する。

②卓球台は試合毎に、専用ペーパータオルを使って除菌作業を行う。

③ボールは、試合毎に、消毒済みものを使用する。

④試合終了後、ベンチ、審判席、カウンター等の消毒を行う。

３）練習会場

①密にならないような、間隔を開けて卓球台を設置する。

②卓球台の除菌作業をこまめに行う。

４）会場入り口、受付

①受付を行うスタッフは、マスクを着用する。

②大会参加者から、「健康チェックシート提出用紙」を毎朝提出してもらうとともに、検温を行う。なお、個人情報の取扱いに十分注意する。

５）手洗い場所・洗面所（トイレ）

①手洗い場にはポンプ型石鹸を用意する。

②手洗いに関する注意事項等の掲示をする。

６) 更衣室

①一度に入室する参加者の数を制限する。

②室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ等）については、こまめに消毒する。

③換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

【５】参加者の感染防止策について

１）以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせていただく。

① 体調がよくない場合。（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

② 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合。

③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

２）マスクを持参し、卓球を行っていない時は必ずマスクを着用すること。なお、マスクは空気が漏れない、空気が入らない、隙間の無いものにする。

３）こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

４）他人との距離をできるだけ２ｍを目安に（最低１ｍ）確保すること。

５）無観客試合とし、参加申込書に記載の無い者は、入場できないこととする。

６）会場で大きな声で会話、応援等をしないこと。

７）感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

８）大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

９）大会前後のミーティングでは、密を避けること。

10) 観客席でも密にならないように間隔を開けて席に座ること。

11) ごみについては、各学校で必ず持ち帰りの徹底をすること。

12) 昼食を取る際も周りとの距離を取り、向かい合わず、会話も控えること。

【６】監督、引率責任者の留意事項

１）学校長に認められた引率責任者の引率がないと試合に参加できない。

２）引率責任者は大会参加２週間前から、参加生徒全員に「健康状況チェックシート」（様式１）を記入させ、チェックが付かない項目がある場合は、その生徒の参加を見合わせる。

３）生徒の保護者並びに学校長の参加承諾を得ること。

４）大会期間中は、生徒全員の「健康状況チェックシート」（様式１）を確認したうえで、「健康チェック提出用紙」（様式２）に記入をし、会場受付に毎日提出する。その際、学校ごとまとまって入場し一緒に受付をすること。

５）入場待機しているときにも、人と人の間隔を取らせて、密にならないように注意すること。

【７】選手の留意事項

１）ベンチにいる選手は常時マスクを着用すること。

２）ベンチから試合中の選手へ大きな声で応援をしないこと。(応援は拍手のみで行う。)

３）試合前のラケット交換は、相手に渡さず、自分で相手に見せること。

４）試合中、大声を出すことは慎むこと。

５）試合中、チェンジエンドは行わない。

６）タオルを卓球台にかけないこと。（ベンチに置いておく。）

７）卓球台の上で手を拭いたり、シューズの裏を手で拭いたりしないこと。

８）握手等の身体を接触させる挨拶は行わないこと。

９）試合のないときは、観客席等で人との距離を保ち、声を出しての応援はしないこと。

10）タオルの共用はしない。こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと。

11）飲料は自分専用のものを飲み、回し飲みはしないこと。

【８】宿泊について

１）宿泊施設関連の業界団体が定める最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと。

２）参加選手の宿泊については、配宿センターに申し込みをすること。

３）新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、体育館に入場が認められている者の宿泊先・交通手段を大会本部で把握するため、「健康チェック提出用紙」（様式２）の宿泊・交通手段調査欄を入力すること。

【９】移動について

１）感染リスクの軽減を考え、密を避ける移動計画を立てる。

２）マスクを着用するとともに、会話をできる限り慎む。

３）こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。

４）移動の際には、事前に食事を準備し、サービスエリアを含めた外食を出来るだけ避ける。

５）飛行機、新幹線を含む特急電車等を利用した際には、号車番号、座席番号を記録する。

６）バス輸送に関しては、「貸し切りバスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと。

７）大会開催前後に、開催地及び近隣地域で練習をする場合は、細心の注意を払って行動する。